

# 学校トイレの 挑戦

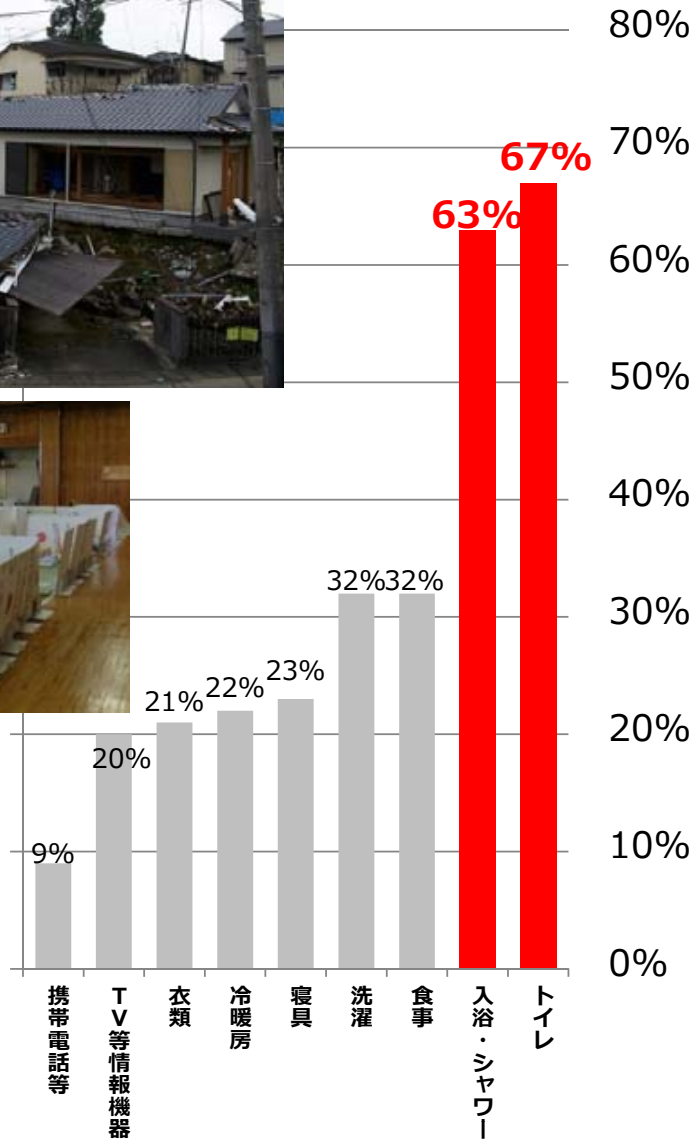
2016号外

号外

## 熊本避難所調査レポート



熊本の避難所にて(2016年7月)



(n=101 複数回答あり)

**避難所生活されている方101人に聞きました!**

**Q1: 4月14、16日の地震直後(2、3日の間)に、  
避難所でああなたが不便に思ったことは?**

食事や衣類、冷暖房など全てを押さえて  
**避難所で不便だったこと第1位はトイレ**

大変な避難生活の中ご理解いただき、6施設の避難所で過ごされている合計101名の方々にアンケートを実施させていただきました。まず最初の設問で、地震直後に不便だったことを伺いましたが、第1位がトイレ、第2位が入浴・シャワーという結果でした。トイレの何に困ったのか? 当号外では地震や豪雨で次々に起こった不測の事態、それを乗り越えた現場の知恵とご苦労をお伝えすると同時に、今後の対策について、特集させていただきます。

避難所生活されている方  
101名の方にアンケート実施

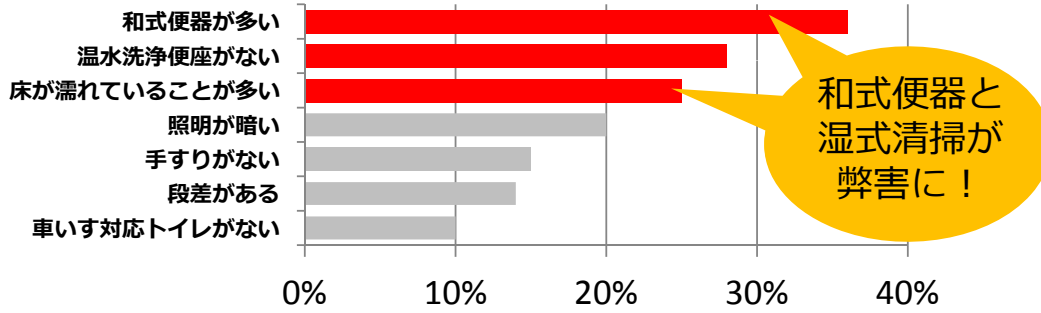
熊本地震被災地の11箇所の避難所トイレ調査を実施

2016年4月14日(木) 21時26分にマグニチュード6.5の前震、4月16日(土)01時25分にマグニチュード7.3の本震に襲われた熊本。直後には学校をはじめとする近隣の避難所に18万人を超す方が避難され、その後も余震が頻発する中で長期にわたり避難生活は続きました。また、同時期に集中豪雨にも襲われました。学校のトイレ研究会では、2016年7月13日~15日に熊本の被災地を訪問し、合計11箇所の避難所となった学校や体育館を取材させていただきました。

# 高齢者が使えない！ 最大の問題は和式便器 改善要望の第1位は洋式化で、便器数確保を上回る

## 避難所生活されている方101人に聞きました！

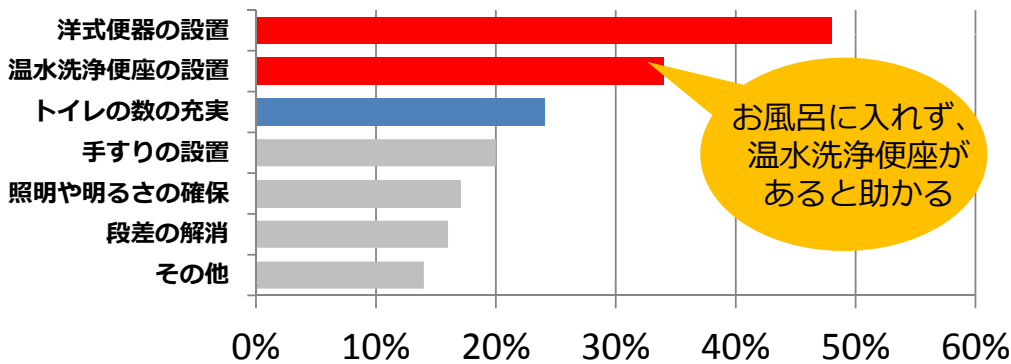
Q2：避難所の常設（建物内に設置されている）トイレをお使いになって、あなたが**設備面**でお困りになったことは？ (n=101 複数回答あり)



和式便器と湿式清掃が弊害に！

**避難所の声** 「洋式を選んでいっている」「洋式が遠かった」「清掃後濡れている」「子どもがすべる」「オムツが詰まっていた（2回もあった）」など

Q3：避難所の常設（建物内に設置されている）トイレをお使いになって、あなたが**設備面**で**充実や配慮**して欲しいことは？ (n=101 複数回答あり)



お風呂に入れず、温水洗浄便座があると助かる

**避難所の声** 「男子トイレは全部洋式にして欲しい。少ない」「広いトイレを」「病気や風呂に入れないうきに温水洗浄便座が欲しい」など

学校トイレは、ほとんど和式便器だらけ！



一部の和式便器に洋式便器をかぶせて対応



- ▲ガタガタ動く
- ▲汚れやすい
- ▲狭い

←▲ドアが当たる\*

避難者に大人気の温水洗浄便座付きの多目的トイレ



個室のない避難所において唯一一人になれるホッとできる空間として避難生活を支えていました。

どこに行っても聞かれた和式便器と湿式清掃による弊害  
同じ熊本県内でもインフラの被害状況は各地様々でした。しかし共通してどこに行っても聞かれたのが、和式便器による弊害でした。被災直後はどこに行っても洋式トイレに、長蛇の列という状態。特に、避難者の多数を占める高齢者には和式トイレが使えない方が多く大変考慮されていました。このことは、上記アンケートの結果に如実に現れています。床が濡れていることによる衛生性やすべりの問題も多く聞かれました。老朽化した学校トイレはほとんどが和式便器で、一部の和式便器に洋式便器をかぶせて対応している現場も多々散見されましたが、大変狭い場合が多く、中には便器にドアが当たってしまい、一旦中に入ってから体をずらして座らなくてはならない現場もありました。そんな中で、温水洗浄便座付の多目的トイレは避難者の方に大人気で、プライベート空間のない避難所の中で、唯一ひとりでホッとできる場となっていました。やはり、学校の常設トイレの洋式化と乾式化が、まずは急務であることが確認されました。また、どうしても詰まりが頻発することから、洋式化の際、便器は掃除口付タイプにしておくことが大変助かると思います。

# 次々に起きる不測の事態。現場の協力で乗り越える。



熊本市立託麻北小学校  
橋本校長先生

プールが校舎の屋上にあり、水を取りに行けない

周辺の学校はどこもプールの水をトイレに流して、上水断水の期間をしのいでいた。当校はプールが校舎の屋上にあり、そこに向かう外階段が破損してプールの水を利用してきませんでした。4月14日(木)前震後に断水予告があったため、バケツやジョウロ、ゴミ箱、ありとあらゆる器に水を溜めました。断水してからは便器のタンクに、溜めた水を補給しながら流しました。仮設トイレは後から2台来ましたが、結局それにも水は必要でした。飲料水や手洗いの水は程なくして給水車が来たので問題ありませんでしたが、トイレに流す水は本当に貴重でした。

15日(金)から約600人の方々が体育館への避難、または校庭に車中泊されていたため、体育館や屋外のトイレは集中利用による汚れや詰まりで大変な状況でした。18日(月)学校職員が揃ったところ、まず最初に全員で取り掛かったことは、トイレ清掃

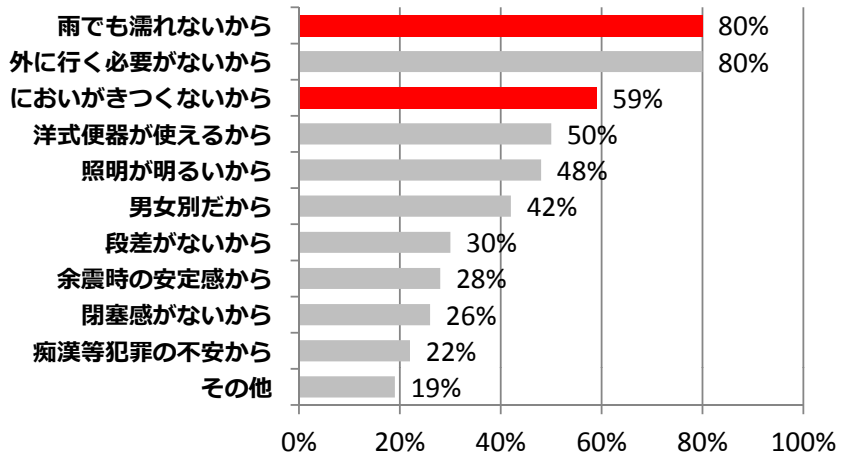
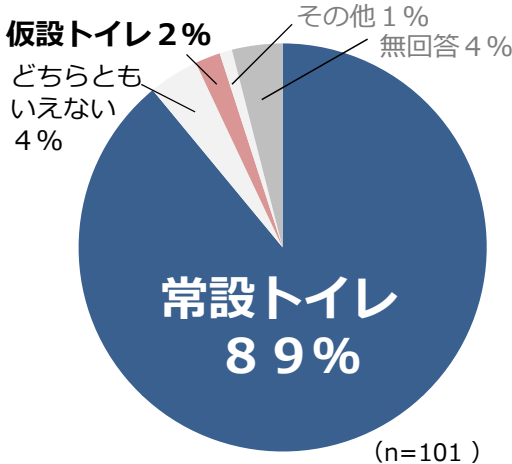
でした。衛生性を最優先に確保する必要がありました。幸い当校では今年2月に1200人が集まったの校区の大型防災訓練が実施されており、飲料水や食料がありましたが、それがあつという間になくなり驚きました。しかし、飲料水や食料などの物資は次々と送られてきて問題ありませんでした。大変だったのは仕分け作業でした。トイレ掃除用に様々な種類の洗剤が置かれてしまい、混ぜると危険な場合もあり、管理が大変でした。

災害対策はとにかくトイレを一番に考えなくてはならない

## 避難所生活されている方101人に聞きました！

Q4：常設・仮設トイレの両方がある場合、どちらを使用したいと思いませんか？

Q5：Q4で常設トイレをお選びになった方に伺います。その理由をお選びください。(n=101 複数回答あり)



### 避難所の声

「暗くて怖い。安全面から常設トイレを使う」「仮設は衛生的でない」「仮設は狭い」など

インフラの被害状況は様々予期せぬ不測の事態も

上水が断水して、その期間中はプールの水を流してしのがれたケースは、東日本大震災でも最も多いパターンでしたが、託麻北小学校のように起きています。(上記参照)

使いづらかった仮設トイレ

仮設トイレが届いたが、ほとんど和式便器だったため高齢者が使えず、後から腰掛けられるものを取り付けたが、今度は段差が大きくなりすぎて使えず、結局また取り外した現場もありました。また、豪雨での避難者も多く、とても屋外に出れない状態も続きました。雨でも濡れないから、においがきつくないからなどの理由から、ほとんどの避難者が常設トイレの利用を望んでいたことが、上記アンケートでもわかります。東日本大震災では被害が広域に渡り、交通も寸断されたため、仮設トイレが届いたのは大分経ってからでした。また、いつく寒さの中で停電し、余震も続き、仮設トイレを使えたのはボランティアの若い男性だけだったとの話もありました。仮設トイレの緊急増設や携帯トイレなどの備蓄も大変重要ですが、それはあくまでも暫定対策で、長期化する避難生活の基盤として、まずは常設トイレの根本的な改善が急務といえます。



益城町の広安小学校はさらにインフラのダメージが大きく、排水管も破損しました。洋式便器にビニールをかぶせて用を足し固めるものや、仮設トイレを活用されました。しかし、広安小学校でもやはり高齢者は仮設トイレは段差があったり使えないため、多目的トイレの空きスペースに、便をビニールパックできるポータブルトイレを設置して対応されました。また、断水が復旧してからも避難生活は長く続きました。インフラの被害は全くない地域でも地震への不安がある多くの避難者を受け入れた避難所も沢山あります。

### 過去の被災経験地における現在の対策状況は？

今年6月30日に実施された文部科学省による『熊本地震の被害を踏まえた学校施設の整備に関する検討会』（第2回）には、大西熊本市長もご出席され、そのご報告の中で「市民からの声で最も多いのはトイレについてで、和式トイレは高齢者が使えないとの声が多く上がっていた。」とのコメントがありました。その席上で長岡市教育委員会から『中越地震を踏まえた学校づくり』の報告がありました。その中で既存学校施設の対応として6つの方針が掲げられており、その筆頭に体育館の入り口スロープの設置と洋式便器の設置が掲げられています。スロープの設置は車いす使用はもとより、被災時の

莫大な資材の搬出入におきましても大変有効なものと考えられます。（下記参照）

### 避難生活の基盤となる常設トイレの改善が急務

災害時はあらゆる不測の事態が想定されるため、携帯トイレや仮設トイレなど、あらゆる手段を複合的に講じておくことが重要ですが、最もベスとなるのは、学校の常設トイレの改善です。和式便器を残すと、好みの問題ではなく、特に弱い立場にある多くの人々が使えなくなることを考える必要があります。また、科学的検証では、湿式清掃の和式便器周辺の床からは大量の菌が検出され、洋式トイレの便座の菌はそれに比べると皆無に近いことが学会報告されており、衛生管理視点から改修時には全洋式化が望まれます。災害時の水は大変貴重であり、一回の洗浄水量が1リットルでも少ない便器にしておくことが、水の運搬作業の負荷軽減にもつながります。学校トイレには避難者の健康と排泄の尊厳を守る義務があります。それには、学校のトイレが災害時には「住まいのトイレ」になることを想定して計画・改善していく発想の転換が必要で、その発想の転換によるトイレ環境の改善こそが、同時に普段利用する子どもたちにとっての、大きな安心と健康にもつながっていきます。



### 中越地震を踏まえた学校トイレづくり 「既存学校施設の対応」 抜粋(長岡市教育委員会)

- ・ほとんどの学校施設が避難所となった。
  - ・避難所では、市職員のほか、学校現場の先生も対応に追われた。
  - ・全ての学校に、避難所としての問題点を問うアンケートを実施。
- ・避難所対策工事等 (H17～H19年度 約1億円)
- ① スロープの設置
  - ② 洋式便器の設置
  - ③ TV、電話等の配線
  - ④ 受水槽蛇口設置
  - ⑤ ガス接続口設置
  - ⑥ 防災物品の備蓄



出典：熊本地震の被害を踏まえた学校施設の整備に関する検討会(第2回)配布資料 (文部科学省) [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shisetu/043/shiryo/1373771.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/043/shiryo/1373771.htm)

日	市町村	取材させていただいた現場
7月13日	熊本市	1. 熊本市立総合体育館
	宇土市	2. 宇土市走潟地区体育館
		3. 轟地区トレーニングセンター
		4. 緑地区トレーニングセンター
7月14日	益城町	5. 益城総合体育館
		6. 益城町立津森小学校
		7. 益城町立広安小学校
		8. 益城町保健福祉センター
7月15日	宇城市	9. 宇城市武道館
		10. 宇城市希望の里 サンアビリティーズ
	熊本市	11. 熊本市立託麻北小学校

### 【学校のトイレ研究会とは】

1990年代オフィスや商業施設のトイレが次々ときれいになっていく中、学校トイレが取り残されていきました。内装建材から衛生機器、清掃メンテナンスまでの企業が結束し、1996年に学校のトイレ研究会を発足。以来、調査・研究・講演活動を継続中です。

\* 「学校トイレ」で検索⇒ <http://www.school-toilet.jp/>  
 <参画企業> アイカ工業、岡村製作所、木村徳太郎商店、TOTO、ニイタカ、ロンシール工業

### 【熊本調査メンバー】



宿泊したホテルの内外装も崩落修理中。大変な状況の中ご協力下さった行政、自治体、学校、避難所の皆様に本当に感謝です。いただいた貴重なお声は、今後のトイレ改善活動に必ず役立ててまいります。